

# 子どもたちと過ごしたこの1年

## 先輩たちの声



### 「子どもの笑顔」

毎日、子どもたちと関わっていると、学級は自分を映す鏡のように感じます。自分が考えていた以上に子どもたちは、自分のことを見てくれているのを感じます。子どもたちに本気で粘り強くぶつかっていけば、少しずつですが応えてくれます。逆に、自分に余裕がないときは学級も落ち着きません。そんな私に子どもたちは、笑顔で「先生」と話しかけてくれます。今、私にとって、子どもたちが笑顔でいてくれることが何よりの喜びで、やりがいを感じる瞬間です。子どもたちの輝く未来のために私も笑顔を忘れず、子どもたちと共に成長していきたいと思っています。

広陵東小学校 小走 龍太郎



### 「子どもの力を引き出すために」

4月、ずっと憧れていた教師という職業に就き、これからの毎日に希望や期待で胸を膨らませていましたが、最初は戸惑いの連続でした。伝えることの難しさ、右上がりの板書、うまくいかない授業。今でも落ち込む日や悩む日があります。そんな時、私を頑張ろうと思わせてくれるのは子どもたちの「わかった!」「なるほど!」という言葉です。自分の授業に対して子どもたちが必死になって取り組む姿を見た時、そして「できた!」という言葉聞いた時、教師になってよかった、この子たちに出会えてよかったと心から感じます。

斑鳩西小学校 小林 翔子



### 「生徒たちの成長が一番の喜び」

教員として過ごす日々、大変やりがいを感じています。難しい課題に果敢に挑戦し、達成できたときの生徒の目の輝きや、仲間と励まし合いながら成長する姿を近くで見ることができる喜びは、この仕事ならではのものだと思います。

教員として一番大切にしていることは、生徒たちに温かい心で接するということです。時には厳しく指導しなければならないこともありますが、それはあくまでも生徒の将来を見据え、愛情を込めた激励でありたいと思います。私たち教員の熱意と愛情が生徒に伝わり、逞しく、そして優しい人に成長してくれることを願っています。これからの教員生活で自分自身も生徒とともに学び、成長し続けたいと思います。

桜井東中学校 米田 祥史